

オンライン・ディベートミーティング

在宅医療の10年後を語る

第2回 かかりつけ医によるソロプラクティス vs 在宅医療に特化したグループ診療

公的介護保険創設以来 24 年、徐々に変貌しつつある在宅医療介護の制度と現場から
見えてくる課題と可能性…

多職種連携や ACP が重んじられる一方で、患者中心の在宅医療は守られてゆくのか？
医師と患者の密な関係性の中で育まれてきたこれまでの医療の本質は果たして守られて
ゆくのか？

さて、今宵は如何様な語り合いが展開するのか？ とくにご視聴あれ！

7月12日(金) 19:00~21:00

パネリスト

佐々木 淳 医師 (医療法人社団悠翔会 理事長)

大久保浩一 医師 (ファストドクター)

野村 良彦 医師 (野村内科クリニック 理事長)

磯崎 哲男 医師 (小磯診療所 院長)

澁谷 泰介 医師 (サンライズファミリークリニック 院長)

モデレーター

千場 純 医師 (社会福祉法人心の会「まちの診療所つるがおか」院長)

視聴申込は「横須賀の 2040 年を考える会」ウェブサイトから

<https://yokosuka2040.org/2407entry.html>